



岩沼市議会では、毎年予算議会において会派代表者質問を行っています。
平成25年第1回(2月)定例会では、6会派中5会派が代表質問を行いました。

将来の発展を見据えた
菅沼のまげくひ



未来いわぬま
布田 恵美

問 岩沼のさらなる発展を願ひ、地産率(地元率)向上を目指し、地元企業、他から立地の企業にも積極的な支援の一環として、市内で開催していた工業見本市を再開し、知っていただくきっかけとしてはどうか。

市長 従来から食育の点でも給食材料への地産地消を推進しており、今後、市内で生産の優良な製品や食品等を市民の皆さんに購入、消費いただくことについては、商工会、関係機関とさらに協議をしていきたいと思ひます。工業見本市は震災でストップした経緯もあり改めて商工会と話し合いをしてみたい、またそういうイベント等だけでなく、企業活動にも市としてできるだけ支援していかなくてはならないと思ひます。

子どもに実践の場を

問 子どもたちがまち中で

展開する「(仮称)子どもマルシェ」を取り入れ、授業の中で地場産品を通じ地元を学ぶ生きた教育、フアンショナル教育、人との触れ合い実践の場を与えてはどうか。

教育長 商工会や町内会を中心とする活動、学校では、PTA活動の中でのバザー活動を膨らませることも検討の余地があると思ひます。教育活動の中でキャリア教育、商業教育、ふるさと教育を充実させることを、今後校長会等に話題提供していきたいと思ひます。

今までの会派で行った
要望



岩沼政策
フォーラム
沼田 健一

問 東部地区全体の排水対策について伺う。

市長 復興交付金対象事業として、3排水路及び3排水機場の工事費等の申請を行っており、今年3月の事業確定を目指し、県を通して国と協議を行っています。

五間堀からの放流は

問 五間堀から太平洋への放流の具体策を伺う。

市長 五間堀川総合計画に基づいて、現在基本計画の策定を行っており、平成25年度で詳細設計を行って順次工事に着手する予定と伺っています。

問 貞山堀のかさ上げ整備と松林を残す件について伺う。

市長 宮城県では、阿武隈川から旧北上川までの貞山運河の再構築を図る目的として、24年10月から貞山運河再生復興ビジョンの策定を行っています。松林については、文化的景観の保全・再生が図られるように要望してまいります。

問 避難路の整備について伺う。

市長 県道岩沼海浜緑地線については、25年度末に工事完了、県道塩釜巨理線については、歩道拡幅を要望しており、27年度末に工事完了と伺っています。

問 県道岩沼蔵王線の改良工事について伺う。

市長 岩沼市志賀字大師から姥ヶ懐までの区間、約3.9

キロメートルについては、25年度において路線測量及び詳細設計を実施すると伺っています。



県道岩沼蔵王線(志賀地区)

岩沼再建に向けた
取り組み



市民ネットワーク
布田 一民

問 今後の財政再建に向けた取り組みです。経常経費率がこのまま高止まりすれば、財政の弾力性に欠け、硬直化し、財政健全を保つことが困難になり、実質収支の赤字拡大につながるこ